

姫路顕栄教会

# エピファニー・タイムス

【住所】〒671-1152 姫路市広畑区小松町4-36

編集責任者 牧師・司祭 ミカエル小南 晃

## 新年を迎えて

神よ、わたしの内に清い心を創造し  
新しく確かな霊を授けてください  
(詩51:12)

新年おめでとうございます。

大晦日と新年は午前0時の時報が鳴るまでの一瞬の違いですが、やはり年が変わって迎える朝は特別な感じがいたします。

ラジオ体操の歌は「新しい朝が来た、希望の朝が」と始まります。新年を迎える時、今年はきっと何かよいことがあるのではという希望や期待を抱く、そのことが新しさ、すがすがしさといった特別な思いを抱かせるのではないのでしょうか。

見方を変えれば、私たちが希望を抱くことによって、また希望を与えられることによって新しくされるということです。

### 書寫山圓教寺「新春・夢の書」

また新しい年の挨拶は「慶び」また「喜び」として交わされます。年月が無事過ぎることを喜ばしいものと思うからでしょう。

姫路市にある書寫山圓教寺では、元旦に「新春・夢の書」としてその年の願いを込めた漢字が一文字、筆で大きく書かれます。

今年は「悦」の文字が書かれました。「悦」には自分の悦びと共に、他者をも悦ばすという意味があるそうです。

しかしこの「慶び、喜び、悦び」ということは、キリスト者の信仰生活の基本の一つと言えます。

まず福音そのものが喜ばしいおとずれ、ニュースであり、「いつも喜んでいなさい (Iテサロニケ書5:16)」など、聖書の各所に私たちが主イエス・キリストにあって常に喜びを抱くようにと勧める言葉が数々あります。

その喜びはどこから来るのでしょうか。

私たちは、時として過去の失敗や挫折によって自信を失い、諦めや絶望にとらわれてしまうことがあります。しかしそうした時に「もはやそのような過去の失敗にとらわれる必要は無い。それはすべて過ぎ去った。すべてが新しくなった。あなたの前には全く新しい人生が用意されている」というメッセージを心から受け入れることが出来るならば、今一度、喜びと希望を持って歩み出せることになるでしょう。

### 喜びの内に生きる年に

神の御子・救い主イエス・キリストは、まさにその喜びと希望を私たちに与えてくださったために来られた方です。それが主イエス・キリストの十字架による罪の贖い、そして復活による永遠の命の約束という、喜ばしいおとずれ・福音のメッセージです。

そして神は、主イエス・キリストを通して、私たちが日々、「新しい人」として生きるとして招いてくださっているのです。

私たちが新年を迎えて、それぞれに抱いている喜びと希望を大切にしながら、またそれを人々に証ししながら、この1年を共に歩んで参りたいと思います。